

### 再開への考えは？ 総合6次産業都市推進会議

**問** 総合6次産業都市推進会議の開催は本市の最上位計画である総合計画の基本計画に位置付けられているが、推進会議の再開について、どのように考えているのか。

**答** 総合6次産業都市推進会議は、第2期西条市総合計画において意義ある有識者会議として位置付けている。また、「ワクワク度日本」の西条市の実現を目指すには、教育・研究交流協定の締結先や専門アドバイザーとの連携による具体的な取組の創出は重要であると認識している。今後、総合6次産業都市の実現を推進する有識者会議については、アカデミックアドバイザー制度を根底に置いた上で、農業、林業、水産業などの専門分野において、それぞれのアドバイザーをいただきながら、メンバーや開催方法を含め、推進会議になりうる会議の設置について検討していきたい。

### 防災に係る 人材の育成を！

**問** 本市では、小学生を対象に防災学習や各種体験活動を通して防災への意識を高め、児童に防災力を身に付けてもらうため「12歳教育推進事業」に取り組んでいるが、中学校や高校では防災教育の受け皿がなく、生徒たちの防災に対する意識の希薄化が懸念されている。中学校や高校へ進学した後も、引き続き少年消防クラブを活用し、実地により深く研究しながら地域防災について学ぶことができるよう、少年消防クラブ



西条市少年消防クラブ大会 研究発表の様子

の対象年齢を拡大する考えはないか。  
また、市長は「市民役の西条」の実現を公約に掲げ、その中で「防災ひとつくりの推進」について述べているが、どのような考えを持って推進しているのか。

**答** 少年消防クラブは、小学生への防災教育として昭和57年11月に神戸少年消防クラブが結成されて以来、市内全ての小学校で結成されており、少年消防クラブ大会の開催や、火災予防運動の広報活動など、災害のないまちづくりの一翼を担っている。中学生については、災害時において役に立つ応急手当を身に付け、救命率の向上を図ることを目的として、市内全ての中学1年生を対象とした救命入門コースを実施している。高校生については、平成27年度から西条農業高等学校が実施している地域人材を活用した土曜教育推進事業において防災教育が取り上げられ、外部講師として防災士が連携するなどの取組が行われてお

り、このような活動が市内各校に広がっていきよう、働きかけを行っていきたい。  
また、県事業を活用した防災士養成事業についても、平成29年度からは高校生枠を設け、市内の高校生による防災士の資格取得を推進し、若い頃から地域防災に積極的に関わっていただける人材の育成を計画している。

今後は、将来の防災の担い手となる中学生・高校生を対象にした防災教育の更なる充実に向けて、各関係機関と連携し、推進していきたい。  
また、「防災ひとつくりの推進」に当たっては、幼・少年消防クラブや12歳教育において防災教育を行うほか、中学校、高校と防災教育を継続することにより、次世代の防災活動のリーダーを育成するとともに、消防団への加入促進につなげたい。  
更に、市の防災訓練などにおいて自主防災組織や防災士消防団員が協働して訓練や講習を行うなど、横の関係を強化するとともに、組織間における情報の共有や連携の強化を図っていきたい。

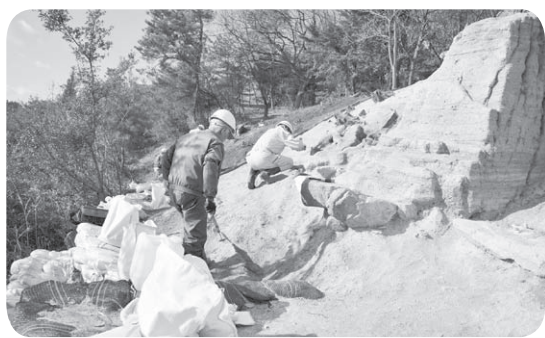
### 新政クラブ

#### 一般質問

### 今後の整備と活用は？

### 国史跡永納山城跡

**問** 国史跡永納山城跡は、発見から現在に至るまで、どのような取組を行ってきたのか。また、平成28年3月に史跡永納山城跡保存整備基本計画が策定されているが、今後の整備と活用については、どのように考えているのか。



永納山城跡発掘調査の様子